2023年(令和5年)11月1日

WITH YOU

さがみはら市議会だより

No.223

編集・発行：相模原市議会　電話042(769)9803
〒252-5277　相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ　https://www.sagamihara-shigikai.jp/

※無断転載・転用はお断りします。

TOPICS

主な議案の概要
委員会の審査
主な議案の審議結果　2

代表質問
7会派により行われた代表質問・個人質疑と市の答弁を分かりやすく紹介　3

一般質問
市政全般に対して行われた質問と市の答弁を分かりやすく紹介　4～6

決算特別委員会分科会の審査
決算に対する討論要旨　7

特別委員会活動レポート　8

9月定例会議

令和4年度決算を認定

都市公園条例等の一部改正など34件の議案を可決・認定・同意

9月定例会議では、令和4年度決算の議案が提出され、内容に対する市長の総括や評価、財政指標の分析などについて質疑等がなされました。

また、銀河アリーナの子ども利用料金を令和5年10月から無料化し、令和9年3月末をもって当該施設を廃止するとした都市公園条例等の一部を改正する条例などの議案が提出され、本会議や関係する常任委員会で質疑等がなされました。

そのほか、議員提出議案として、硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書等3件が提出されました。

その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

12月定例会議
紹介ポスターデザイン

制作協力
女子美術大学　デザインルーム

12月定例会議のお知らせ

１２月定例会議の予定は、次のとおりです。

本会議・委員会は、午前9時30分から開会する予定です。

11月28日(火)と29日(水)に議場でコンサートを開催します。詳しくは8面で！

11月10日(金)　議会運営委員会
17日(金)　本会議(提案説明)
28日(火)　本会議(代表質問・個人質疑)
29日(水)　本会議予備日(代表質問・個人質疑)
12月　1日(金)　総務委員会
4日(月)　こども文教委員会
5日(火)　民生委員会
6日(水)　建設委員会
7日(木)　市民環境経済委員会
18日(月)　本会議(一般質問)
19日(火)　本会議(一般質問)
20日(水)　本会議(一般質問)
21日(木)　本会議(委員長報告、採決)
<本会議終了後>
議会運営委員会

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・インスタグラムでもご覧になれます。
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。
ホームページ　https://www.sagamihara-shigikai.jp/　相模原市議会　検索

ホームページ

「いいね！」してね！！
フェイスブック

「フォロー」してね！！
インスタグラム

――― 9月定例会議 ―――

主な議案の概要

市税条例の一部改正

長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに対する固定資産税の減額措置等

地方税法の改正に伴う固定資産税の減額の特例に係る割合を定める規定の追加等を行う。

都市公園条例等の一部改正

銀河アリーナ　子どもの施設利用を無料化／令和9年3月末で施設を廃止

少子化対策としての子どもの居場所づくり推進等のために子どもの施設利用を無料とすることに伴う、淵野辺公園アイススケート場等の利用に係る料金の規定の改正と、これらの施設の廃止に伴う規定の削除等を行う。

その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

市立公民館条例の一部改正

星が丘公民館の改修後の施設使用料の設定

星が丘公民館の長寿命化改修工事に伴い、改修後の施設使用料に係る規定の追加を行う。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)
補正額：20億7,900万円

民間住宅施策推進事業　2,000万円

空き家の流通促進及び子育て世帯等の本市への定住・移住の更なる推進を目的として、子育て世帯等への既存住宅の取得・改修に対する補助を行う。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)
限度額：5,110万円

令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
限度額：10億3,160万円

令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
限度額：6億1,729万円

窓口業務等委託経費の債務負担行為の補正及び設定

市民サービスの向上、業務全般の効率化等を目的として、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療制度に係る事務処理等を委託するため、債務負担行為の補正や設定を行う。

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会において、様々な視点から審査されました。
主な条例等に関する質問事項は、次のとおりです。

総務委員会

市税条例の一部改正

○固定資産税減額の特例措置の要件である「マンション管理計画認定制度」の認定基準や、市内で認定が想定されるマンションの戸数
○今回の特例措置に期待する効果
【賛成総員により可決】

民生委員会

①一般会計補正予算(第5号)所管部分
②国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
③後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
(①～③は一括審査)
※窓口業務等委託経費に関して
(債務負担行為の補正・設定)

○国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療制度の窓口業務に係るそれぞれの委託内容と、外国語への対応予定
○既存のコールセンター業務に受電業務を追加することによる効果
【いずれも賛成多数により可決】

市民環境経済委員会

都市公園条例等の一部改正

○スポーツ施設の廃止基準を作成することに対する市の見解
○今後、銀河アリーナの廃止時期を延期する可能性
○スケート競技において、銀河アリーナが果たしてきた役割と成果
【賛成総員により可決】

建設委員会

一般会計補正予算(第5号)所管部分
※民間住宅施策推進事業に関して

○本年度の申請状況と、当初予算に追加して補正予算を計上した理由
○市の補助と併用が可能な、国の「こどもエコすまい支援事業」の周知方法
【賛成総員により可決】

こども文教委員会

市立公民館条例の一部改正

○公民館の施設使用料の積算方法
○星が丘公民館改修後の各部屋の配置や用途設定
○風水害時避難場所にも位置付けられている当該施設を改修するに当たって工夫した点
【賛成総員により可決】

令和5年第2回定例会 9月定例会議 主な議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対　議案に対する討論が行われた場合、賛成討論は賛、反対討論は反を付記しています。

議案番号	議案	自民党	さがみみらい	公明党	立民	日本維新の会	颯爽	日本共産党	無所属	議決結果
市長提出議案										
第88号	令和4年度一般会計歳入歳出決算	○賛	○賛	○賛	○賛	○賛	○賛	×反	○	認定
89号	令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○賛	○	○賛	○	○賛	○	×反	○	認定
90号	令和4年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○賛	○	○賛	○	○賛	○	×	○	認定
92号	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算									
94号	令和4年度麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算									
101号	市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
103号	都市公園条例等の一部改正									
104号	市立公民館条例の一部改正									
109号	令和5年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○賛	×	○	可決
110号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)									
111号	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)									
議員提出議案										
第7号	硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8号	国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書									
9号	厚木基地周辺の住宅防音工事対象区域における逆転現象を伴う告示後住宅の解消等を求める意見書									

※9月定例会議のその他の議案20件は、全会一致で可決・認定・同意しました。
詳細は市議会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

議会内会派の構成 (議員の氏名は50音順、(　)内は略称)

自由民主党相模原市議団(自民党)　14人
秋本　仁　阿部　善博　大槻　和弘　大八木　聡　折笠　正治
佐藤　尚史　須田　毅　寺田　弘子　中村　昌治　西田　悠人
萩生田康治　古内　明　務川　慧　渡部　俊明

民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい)　9人
石川　達　榎本　揚助　鈴木　秀成　関根雅吾郎　谷川ヒロシ
松浦千鶴子　三須城太郎　森　繁之　山口　恒

公明党相模原市議団(公明党)　8人
後田　博美　大崎　秀治　岡本　浩三　加藤　明徳　中村　忠辰
南波　秀樹　西家　克己　保々富美子

立憲民主党(立民)　5人
臼井　貴彦　大沢　洋子　栗原　大　桜井はるな　仁科なつ美

日本維新の会相模原市議団(日本維新の会)　4人
岩井　大　こさわ隆宏　鈴木　晃地　田崎　明

颯爽(さっそう)の会(颯爽)　3人
五十嵐千代　野元　好美　長谷川くみ子

日本共産党相模原市議団(日本共産党)　2人
今宮ゆうき　羽生田　学

会派に属していない議員(無所属)
小林たかみち

代表質問

7会派による代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継（録画）などをご覧ください。

〈9月４日〉
渡部　俊明（自　民　党）
榎本　揚助（さがみみらい）
加藤　明徳（公　明　党）
9月4日

〈9月５日〉
桜井はるな（立　　民）
こさわ隆宏（日本維新の会）
野元　好美（颯　　爽）
羽生田　学（日本共産党）
9月5日

令和4年度決算の総括 コロナ禍や物価高騰等の影響は

Q 歳入歳出ともに過去２番目の規模となった決算の総括は。

市長 安定した医療体制の確保や物価高騰対策等、社会経済活動の再開・活性化に向けた取組への支援とともに、市民の安全・安心の確保に向けた公共施設の修繕や、今後のまちづくり等の確実な執行のための基金への積立を適時適切に行うなど、必要な施策の実施に向けた財政運営ができたと認識している。

Q 実質収支(※1)の大幅な黒字や実質収支比率が高い要因は。

市長 市税収入が想定より堅調であったことに加え、国庫支出金を活用して実施した新型コロナウイルス感染症対策事業のうち、今後精算を必要とする事業が複数あること等が影響したもので、一時的なものと捉えている。

Q 大幅に増加している財政調整基金(※2)の適正な規模は。

市長 適正な規模については、現時点で明確な基準がないため、目安は設定していないが、行財政構造改革プランの取組状況等を踏まえ、他自治体の状況も参考に検討していく。

Q 経常収支比率(※3)の改善に向けた取組は。

市長 市税収入の増加等により比率は改善しているが、扶助費等の義務的経費は増加傾向にあるため、行財政構造改革プランに基づく取組を着実に進める必要があると考えている。

決算書等

橋本駅周辺地区のまちづくり 市民意見の聴取の状況等は

Q 市内で複数のまちづくりが進む中、当該地区における特徴は。

市長 リニア中央新幹線や圏央道等の交通の要所としての強みや、ロボット等の先端技術を活用したまちづくりを進めている。

Q パブリックコメントで「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン（案）」に寄せられた市民意見とその反映は。

市長 企業等の誘致など土地利用に係るものや、渋滞対策など交通に係るもの、安全安心な歩行者空間を求めるもの等があった。意見を踏まえ、土地利用の適切な誘導や、誰もがアクセスしやすい交通ネットワークの形成等が図れるよう策定していく。

Q 8月に市長自らが出席した都市計画道路大西大通り線に係る市民対話の内容は。

市長 いただいた意見は真摯に受け止めている。当日は、道路の線形に関する意見や都市計画の撤回を求める意見等があり、私からは道路の必要性や線形を決定した考え方を伝えた。

相模原市リニア駅周辺
まちづくりガイドライン（案）

体育館や新たな給食センター 学校関連施設の整備の取組は

Q 体育館への空調設備の設置を加速化する考えは。

教育長 現在は６校に設置しており、長寿命化改修やトイレの洋式化等を優先的に進めているが、近年の気象状況や施設の構造等を踏まえ、整備の優先順位を検討していきたいと考えている。

Q ２か所の給食センター(※4)の機能の検討状況と今後の予定は。

市長 給食調理以外の機能として炊き出し等の防災機能や食育機能を持たせるほか、環境配慮手法等の検討を進めている。今後、ＰＦＩ手法(※5)による整備・運営に向け、11月に要求水準書案等を公表し、来年度、事業者の公募を予定している。

廃止予定の銀河アリーナ 時期決定の経緯と今後は

Q 令和９年３月末をもって施設廃止とした経緯は。

市長 多くの市民に利用されてきた施設であり、オリンピアンの輩出実績や市民の要望、意向調査の結果を踏まえ、運営や維持・改修に要する費用等を勘案し、総合的に判断した。

Q 新たな民間アイススケート場の検討に向けての取組状況は。

市長 ７月に民設民営のアイススケート場を視察し、運営事業者に対し、施設の管理方法や利用状況等のヒアリングを行った。施設ごとに運営形態が異なるため、今後も、他施設の視察や運営方法の調査を進めていく。

銀河アリーナ

国保等の業務を一体的に委託 目的や提案時期の理由は

Q 国民健康保険等(※6)の窓口業務などを委託する目的や効果は。

市長 問合せへのワンストップ対応や窓口の待ち時間短縮等、市民サービスの向上や業務全般の効率化等を図るため、公民連携活用指針の考え方に基づき、独自のノウハウやＤＸ等の技術を持つ民間事業者に委託するものである。

Q 当初予算ではなく補正予算で提案した理由は。

市長 来年１月の２つのコールセンターの更新に合わせ、窓口、受電、後方事務の３業務を一体的に委託することで、より高い効果が得られるため、令和6年度当初予算から前倒しして提案した。

用語解説

※1　実質収支
歳入総額から歳出総額を差し引いた「形式収支」から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額のこと。

※2　財政調整基金
年度間の財源の不均衡を調整する基金のこと。決算剰余金の一部等を積み立てて、税収減少時や突発的に多額の財政需要が発生した時など、サービス水準を一定に保つために用いる。

※3　経常収支比率
市税等の常に見込める収入と、人件費等の常に支払う必要がある支出の割合のこと。この割合が低ければ、それだけ新しい事業に予算を充てることができる。

※4　２か所の給食センター
５月に策定した学校給食施設整備方針において、中学校給食の全員喫食の早期実現及び持続可能な給食運営を図るため、北部と南部に整備することとしている。

※5　ＰＦＩ(Private Finance Initiative)手法
公共施設の建設等に民間の資金等を活用することで、効率的、効果的に社会インフラを整備・運営する手法のこと。

※6　国民健康保険等
国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度を対象としている。

9月定例会 一般質問

市政全般にわたる議案以外に関する一般質問ポイントを

折笠 正治（おりかさ まさはる）
（自民党）

Q 南市民ホール 会派要請への対応 利用者への活動継続の担保は

市長　要請等を踏まえ、廃止時期を当初の予定から1年半延長して代替施設の機能向上(※)を図る。さらに、大学等の施設の活用を調整するなど、できる限り文化活動が継続できるよう取り組む。

Q スポーツによる地域活性化 アーバンスポーツ(※)のイベント開催は

市長　近年の関心の高まりを受け、令和7年度に小山公園ニュースポーツ広場のリニューアルを予定している。今後も普及促進に向けて、イベントの開催や誘致について検討していく。

その他の質問　高齢者等に住宅を安心して貸すことのできる環境づくりなど

※代替施設の機能向上　代替施設の一つである相模女子大学グリーンホールの多目的ホールについて、音響工事を実施するほか、トイレを洋式化する。
※アーバンスポーツ　スケートボードやバスケットボールの3×3（スリーエックススリー）等、広い場所を必要とせず、気軽に始められるとの理由で、都市住民が参加しやすいスポーツ

関根 雅吾郎（せきね まさごろう）
（さがみみらい）

Q 公園等に設置の屋外トイレ 洋式化を含めた改修の考えは

市長　生活様式の変化等を踏まえ、修繕や施設の更新時に合わせて洋式化に取り組んでいる。今後も、施設の老朽化や水回りなどの構造的な課題等も踏まえながら、対応していく。

Q 相模原総合高校跡地の利用 給食センター用地以外の未来は

市長　跡地のうち約4.5ｈａ（ヘクタール）について、本年度中の用地取得契約に向け、県と調整している。このうちセンター整備予定の約1ｈａは先行取得し、他は県が校舎等を解体した段階で取得したい。

その他の質問　役所手続きの簡素化／高性能住宅／市民相談受付業務など

保々 富美子（ほぼ ふみこ）
（公明党）

Q 児童クラブ利用の安心に繋（つな）がる 救命救急講習の受講状況は

市長　普通救命講習の受講については、児童クラブの職員をはじめ、児童館やこどもセンターの職員も対象として年1回行っており、各施設1名以上が参加している。

Q おむつのサブスク(※)で更なる支援 公立保育施設への導入は

市長　サブスクの利用により、保護者は家庭からおむつを持参する必要がなくなるが、別途、費用負担が生じることや、おむつの種類が限定される等の課題があると認識している。

その他の質問　特別養護老人ホームなど

※サブスク　サブスクリプションの略で、一定期間を定額で契約して利用できるサービスのこと。

手軽な移動手段の電動アシスト自転車

青葉小学校

今宮 ゆうき（いまみや）
（日本共産党）

Q 幼稚園等への入園時の支援 市独自補助制度創設の考えは

市長　国の制度を活用し、生活保護利用者を対象に、教材費等について月額2,500円を上限に補助している。補助制度の拡充は財政面の課題もあることから、実施は困難と考えている。

Q 子育て世帯の様々な移動手段 電動自転車等購入への補助は

市長　電動自転車購入補助を含め、子育て世帯を応援する事業はニーズ等を勘案し慎重に行う必要がある。自転車用ヘルメットは、今後の着用状況等を踏まえ、助成の必要性を含め研究していく。

その他の質問　市立児童クラブ／ハチの巣駆除など

西田 悠人（にしだ ゆうと）
（自民党）

Q 青葉小学校閉校後の跡地利用 民間活力導入の可能性は

市長　ＰＰＰ／ＰＦＩ地域プラットフォーム(※)では採算性等から民間の事業展開は困難ではとの意見があったが、民間活力による地域活性化が必要であり、今後も導入方法を検討していく。

Q 淵野辺公園のジョギングコース 路面の凹凸（おうとつ）を改善する考えは

市長　長年の降雨等で表面の土が流出し轍（わだち）等が生じたもので、今後は、利用頻度が高い芝生広場周辺のアスファルト舗装を優先的に行い、段差のあるマンホールは擦り付け舗装を実施する。

その他の質問　介護現場における人材不足への対策など

※相模原市ＰＰＰ／ＰＦＩ地域プラットフォーム　市や民間事業者等が集い、公共施設等の整備・運営等に係る民間参画のノウハウ習得や情報共有、ネットワーク構築を図り、具体案件の形成を目指すための取組の場として設置している。

小林 たかみち（こばやし）
（無所属）

Q 湖月荘跡地(※)の有効活用 地域との対話等の見通しは

市長　活用内容の決定に当たっては、地域と十分に対話を行うことが大切と考えている。今後、速やかに活用案を取りまとめ、本年度内を目途に地域との対話を始めていく。

Q 給食の牛乳容器のストローレス化 使いたい児童生徒への配慮は

教育長　従来どおりストローを使用した飲用も可能で、低学年の児童のほか、けがや病気等、ストローなしの飲用が難しい場合には使用可能とするなど、柔軟な運用を各学校に通知している。

その他の質問　グリーンスローモビリティ／東京事務所など

※湖月荘跡地　緑区中沢の津久井湖畔にあった県の老人保養所「湖月荘」の跡地で、約1.3ｈａの面積を有する。旧城山町との合併後の平成19年10月1日に、県から市に無償譲渡された。

中村 忠辰（なかむら ただとき）
（公明党）

Q 鳥屋（とや）に建設中のリニア車両基地 回送線の旅客線化への思いは

市長　周辺地域の活性化や市の観光振興に繋がるものと考えており、私からＪＲ東海に対し将来的な検討をお願いしている。引き続き、工事や開業の状況等を踏まえながら働きかけていく。

Q 高齢者等への買い物支援 民間と連携した移動販売は

市長　移動販売については、地域ニーズや既存店舗への影響を踏まえて検討を行い、必要に応じて民間企業との包括連携協定の枠組み等を活用し、促進していく。

その他の質問　ふるさと納税の特徴ある返礼品／子どもの医療の充実など

務川 慧（むかわ けい）
（自民党）

Q 図書館相武台分館の今後 図書機能確保への意気込みは

市長　公共施設は全市民の資産との認識の下（もと）、分館が果たしてきた役割等を大切にし、時代の変化等に沿った、より多くの人に喜ばれる図書機能の在り方を地域と対話しながら検討していく。

Q 先端物流都市を目指して 新たな拠点整備推進の認識は

市長　相模原愛川ＩＣ（インターチェンジ）周辺では新たな産業拠点形成を目指して、立地特性を生かした企業誘致で周辺の産業活性化や雇用を創出し、民間活力を活用した計画的な市街地整備に取り組んでいく。

その他の質問　一般廃棄物最終処分場／相模原市による投資活性化など

議

般

問

たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。

議会中継（録画）

三須 城太郎（みす じょうたろう）
（さがみみらい）

Q 日陰が特に少ないスポレクパーク（※）施設における熱中症対策は

市長 四阿（あずまや）やミストポール等を設置したほか、本年度は人工芝グラウンドの観客席に屋根を設置する予定である。今後も利用者が安全で快適に過ごせるよう、環境整備に取り組んでいく。

Q 共働き世帯の負担軽減に向け児童クラブで昼食提供の考えは

市長 学校の長期休業期間における市立児童クラブの昼食提供については、すでに昼食提供を実施している他自治体の事例を参考にして、課題の整理に努めていく。

その他の質問　市民の安全を守るためになど

※スポレクパーク　ＪＲ相模原駅北口側に位置する、相模原スポーツ・レクリエーションパークのこと。

スポレクパークに設置している四阿

南市民ホール

大八木 聡（おおやぎ さとし）
（自民党）

Q リニア駅から地上までの空間立体的な活用に向けた検討は

市長 ＪＲ東海には、地下施設を避難施設に指定すること等への協力を昨年12月に依頼した。ガイドライン（※）では地上に繋（つな）がる空間を災害時にも活用するとしており、引き続き協議していく。

Q 障害当事者・保護者等の声次期プラン（※）へ反映する取組等は

市長 障害のある方に加え、家族など周りの方への支援が今後重要になるため、当事者等へのアンケートや関係団体の意見を市障害者施策推進協議会に示し、反映するよう取り組んでいく。

その他の質問　財産区の在り方／相原地域の道路整備など

※ガイドライン　相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン（案）のこと。７月１日から８月10日までパブリックコメントを実施し、9月時点では結果の公表に向けた準備を進めている。
※次期プラン　（仮称）第２期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プランのこと。７月に市障害者施策推進協議会へ素案について諮問しており、10月に答申を受ける予定となっている。

岡本 浩三（おかもと こうぞう）
（公明党）

Q 需要が高まる放課後児童クラブ民間児童クラブへの支援内容は

市長 運営法人等に対し、建物の維持管理や人件費のほか、児童の送迎等の運営に対する補助を行うとともに、市主催の資質向上研修に職員も参加してもらうなどの支援を行っている。

Q 通学路の危険箇所等の情報分かりやすい公表の検討を

教育長 今後、ホームページ上の地図で、交通事故発生場所や改善した箇所、取組状況等を確認できるようにするなど、より分かりやすい公表の在り方を検討していく。

その他の質問　障がい者の就労など

臼井 貴彦（うすい たかひこ）
（立　民）

Q 相模原駅北口地区の土地利用公共施設配置等の検討状況は

市長 専門的見地からの検討に加え、ワーキング結果を反映し深度化を図り、本年度中に代表的な施設配置を示す予定で、当該地の公共施設の在り方は土地利用計画策定の中で検討していく。

Q 相模原駅北口広場と南北道路接続の実現に向けた検討は

市長 様々な方策を検討したが、南北道路から小山踏切への通過交通の発生や駅北口への自動車の流入増加により、事故の危険性が増すことが想定されるため、接続は困難と判断している。

その他の質問　人生100年時代に向けて／教員の働き方改革など

長谷川 くみ子（はせがわ こ）
（颯　爽）

Q 南市民ホール廃止の方針決定対話後も変えなかった理由は

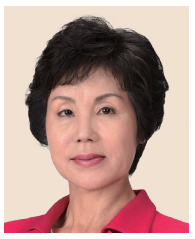
市長 「改めて市民説明会等の意見を踏まえ、意思決定する」とした４月の庁議の後も利用団体等との対話を続け、７月の意見交換会では市民の意見を直接伺い、熟慮の上、判断をした。

Q いじめ認知件数や重大事態（※）等市内の小中学校等の状況は

教育長 令和３年度と昨年度で、認知件数は1,330件と1,392件、重大事態は０件と１件である。また、30日を目安とした欠席のある児童生徒でいじめとの関連が疑われるのは、昨年度に１人である。

その他の質問　難民認定を求める「仮放免」等の市内居住者への情報提供など

※重大事態（いじめ防止対策推進法第28条第１項）　いじめにより、児童等の生命、心身、財産に重大な被害が生じた疑いがあると認める事態及び児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認める事態



寺田 弘子（てらだ ひろこ）
（自民党）

Q 地域共生社会の実現に向けて地域包括支援センターの役割は

市長 高齢者がいる世帯等の身近な相談窓口として、関係機関と更に連携を強化し、子どもや障害のある方等を含め、垣根を越えて包括的に支援していくことが、今後担うべき役割と考える。

Q 階段の歩行が困難な児童生徒状況に応じた昇降機の調達は

教育長 保護者と相談の上、教育委員会所有の階段昇降機を使用しているが、児童生徒によっては使いにくい場合もあることから、希望する機能等を伺いながら、引き続き検討していきたい。

その他の質問　木もれびの森の保全・活用／ステップファミリーなど

石川 達（いしかわ いたる）
（さがみみらい）

Q 発達に課題がある児童生徒周囲の理解を促進する取組は

教育長 各学校では、支援教育コーディネーターを中心に相談体制を構築して研修や情報共有等を行い、理解に努めているが、引き続き、児童生徒や保護者が相談しやすい環境整備を進めていく。

Q 通学路を多く通るＹナンバー車（※）事故防止への交通安全対策は

市長 米軍では着任時に交通ルール等の研修を義務付けているほか、定期的な啓発等を行っていると聞いている。狭隘（きょうあい）な道路を極力回避すること等を、市も米軍に働きかけていく。

その他の質問　相模大野駅周辺のまちづくりなど

※Ｙナンバー車　在日米軍関係者が私有する普通自動車のこと。

鈴木 晃地（すずき こうち）
（日本維新の会）

Q 休日の学校グラウンドの開放整備用品の管理等の状況は

市長 グラウンド利用後は、整地や清掃、ゴミの持ち帰り、消灯、施錠等、利用者が施設の原状回復をすることとしており、整備用品は学校又は利用団体が所有、管理している。

Q 学校トイレの温水洗浄便座設置状況と導入への課題は

教育長 令和４年度末での設置数は137箇所である。現在、洋式化等を順次進めている中で、更に温水洗浄便座を設置するには、維持管理や設置費用等の財源確保が課題と認識している。

その他の質問　道路行政／バスケットボールコートなど

9月定例会議 一般質問

大槻 和弘（おおつき かずひろ）
（自民党）

Q 投資的経費の割合が低い本市 指定都市平均を目指す考えは

市長　プラン第２期(※)において目的別経費ごとの適正配分を行う予定であり、市の行財政構造を見直し、必要な投資的経費を指定都市平均の水準まで段階的に確保することを目指していく。

Q 農業の新たな担い手確保へ 認定新規就農者(※)への支援策は

市長　経営開始資金の交付のほか、市や農業委員会、農協等からなるチームによる技術・経営面の支援、地域の先輩農業者等による生活面も含めた相談等、寄り添った支援を行っている。

その他の質問　避難所運営活動の充実に向けて／公園等の原則禁煙化など

※プラン第２期　行財政構造改革プラン第２期のこと。令和６年度からの開始に向けて、現在策定を進めている。
※認定新規就農者制度　新たに農業を始める人が作成した就農計画を市町村が認定する制度のこと。その計画に沿って農業を営む新規就農者は、各種支援を受けることができる。

田崎 明（たさき あきら）
（日本維新の会）

Q 市内中小企業の経営を支える 事業継続・発展への支援策は

市長　市独自の融資制度による資金繰り支援、新技術・新製品の研究開発への補助、認定制度による販路開拓支援等を実施しているほか、産業支援機関(※)と連携して支援に努めている。

Q 自治会が抱える様々な課題 市の認識と解決への取組は

市長　加入世帯の減少や活動の負担増加等が課題と認識している。未加入世帯への勧誘やＤＸ事例など活動に役立つ情報の提供等を、引き続き市自治会連合会と連携して取り組んでいく。

その他の質問　地域内分権／ごみの収集など

※産業支援機関　地域産業の振興に向けた事業者支援を担う公的機関や団体のこと。

森 繁之（もり しげゆき）
（さがみみらい）

Q 地域おこしに繋がる音楽フェス 市内開催についての見解は

市長　多くの方に市の魅力を知っていただく良い機会であり、シティプロモーションのほか、地域の活性化も図られるため、有益なものになると考えている。

Q 障がい者を雇用するカフェ 市役所本庁舎への常設は

市長　多くの方が訪れる場所への設置は、障害に関する理解促進に有効と認識している。常設には課題があるが、障害者就労施設等による販売会を増やす等、更なる理解促進に取り組んでいく。

その他の質問　自然を活かした地域活性化策など

栗原 大（くりはら ゆたか）
（立　民）

Q 中山間地域の診療所統合方針 住民の不安払拭への取組は

市長　訪問診療等の充実により、住み慣れた地域で誰もが安心して医療が受けられる体制作りを進めていく。今後、実証事業等の中で在宅医療について具体的に示し、地域の理解を深めていく。

Q 旧鳥屋（とや）小学校の跡地利用 地域の拠点づくりの考えは

市長　今後、鳥屋地区における公共施設の状況等を踏まえ、跡地利用の考え方を整理するとともに、ＪＲ東海の協力の可能性を含め、地域と対話を行いながら検討していく。

その他の質問　災害復旧／旧鳥屋小学校体育館の解体／鳥屋児童保育園など

西家 克己（にしや かつみ）
（公明党）

Q 環境に配慮したライフスタイルへ 市民の行動変容を促す取組は

市長　５月から、まちのコイン「すもー」(※)の運用を開始し、フードロス削減等の行動もポイント発行の対象としていることから、今後は同事業を活用して、市民の環境配慮行動を促進していく。

Q ドライブレコーダーによる見守り 市の事業(※)への活用の検討は

市長　事業者と協定を締結し、事件等の際には必要に応じてレコーダーの記録も提供してもらうこととしている。今後、協力事業者等のレコーダーを犯罪抑止に繋（つな）げる方策を検討していく。

その他の質問　インバウンド戦略の拡充のためになど

※まちのコイン「すもー」　スマートフォンアプリによる相模原市版の地域通貨のこと。通貨の単位が「すもー」で、ＳＤＧｓに繋がる活動等に参加すると「すもー」がもらえ、景品との交換などに使うことができる。
※市の事業　ここでは「走るこども110番の家」事業を指す。市内を走行する郵便局やタクシー事業者等の車両が、子どもたちを危険から守る活動をしている。

普及が進むドライブレコーダー

宮ヶ瀬湖

中村 昌治（なかむら まさはる）
（自民党）

Q かかりつけ歯科医の定着等へ 若年層の定期歯科健診実施を

市長　かかりつけ歯科医を持って定期的に受診してもらうことは、医療費の抑制等にも繋がると認識している。今後、国が進める国民皆歯科健診の動向等を踏まえ、対応を検討していく。

Q 宮ヶ瀬湖でのフィッシング実現へ 市場調査(※)の結果とその活用は

市長　調査に参加した全団体が釣りの解禁を望み、釣り場としての魅力や環境への配慮等について貴重な意見等を頂いた。これらを踏まえ、関係機関と連携し、実現に向け協議していく。

その他の質問　市役所周辺公共施設など

※市場調査　日本で最も環境に配慮した湖面利用の実現性の検討に当たり、専門的知見を持つ民間企業等からの意見・提案を求めるサウンディング型市場調査を５月に実施し、12団体が参加した。

詳しい内容については、
市議会ホームページや
議会中継（録画）をご覧ください。

陳情の審議結果

採択

▷厚木基地の住宅防音工事補助対象区域に係る再告示に際しての問題解決に関することについて
▷国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上、並びにゆきとどいた教育の実現を求めることについて

不採択

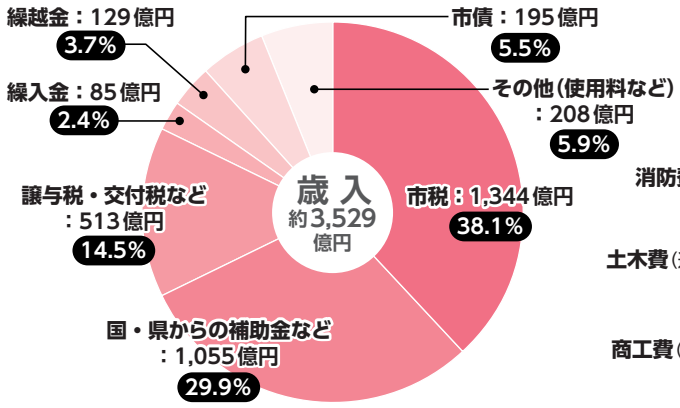
▷政党機関紙の庁舎内勧誘行為自粛について、市の対応を求めることについて
▷現行の（紙の）健康保険証の存続を求めることについて
▷香害及び化学物質過敏症に関するアンケート調査の実施等を求めることについて
▷現行健康保険証の存続を求める意見書を国に提出することを求めることについて
▷従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書提出について
▷相模原市職員不祥事に関することについて

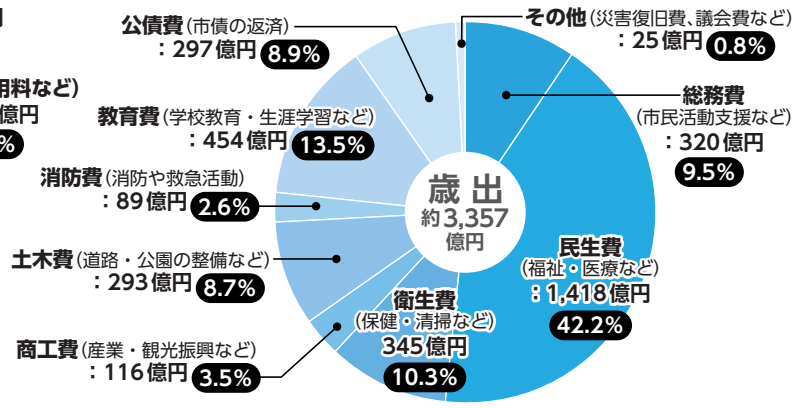
さがみはら市議会だより 録音版・点字版のご案内

活字のさがみはら市議会だよりを読むことが困難な方や視覚に障害のある方のために、録音版・点字版を発行しています。図書館や津久井地域のまちづくりセンター等に配架しているほか、希望される方には郵送をしています。ご希望の方は、政策調査課（042-769-9803）へご連絡ください。

令和4年度の決算を市議会がCHECK チェック！

一般会計決算の構成





決算特別委員会分科会の審査

9月5日、前年度の予算が適正かつ妥当に使われたかどうかを議論、審査するために、全議員による決算特別委員会が設置され、委員長に寺田弘子議員、副委員長に関根雅吾郎議員が選出されました。決算特別委員会に付託された決算は、5つの分科会で詳細に審査されました。主なチェック事項は次のとおりです。

総務　情報発信推進事業　決算額 2,001万円

事業概要 多様なメディアへの露出獲得に向けた積極的な働きかけを行うとともに、ソーシャルメディアを活用した情報発信力の強化により、市の好意的認知度を高める取組を推進した。

チェック！
- 令和４年度からの新規事業である当該事業の概要と、成果は。
- メディアリレーション事業において、特出しして市の取組をPRすることができた事例は。

民生　認知症総合対策事業　決算額 1,780万円

事業概要 認知症に関する専門相談等を行う認知症疾患医療センターの運営、認知症サポーターの養成等、認知症に係る総合的な事業を推進した。

チェック！
- 認知症サポーター養成講座の受講者数の年代別の内訳は。
- 若年層のサポーター増加に向け、教育委員会との連携による実施についての見解は。

市民環境経済　（仮称）新斎場整備事業　決算額 734万円

事業概要 最終候補地「青山」における土砂災害対策の工法等について精査するとともに、安全性に配慮した施設配置等について検討した。

チェック！
- 当該事業の現状と令和４年度の事業成果は。
- 土砂災害対策として検討している土石流堆積工の安全性の裏付けについての認識は。

建設　交通安全施設整備事業（中山間地域対策事業）　決算額 2,205万円

事業概要 津久井産材の間伐材の需要拡大等を目的として、津久井産材を使用した木製ガードレールを設置した。

チェック！
- 当該事業を実施するに至った経緯と検討の経過は。
- 木製ガードレールの設置場所や強度、設置費用は。

こども文教　子育て世帯訪問支援事業　決算額 72万円

事業概要 支援が必要な子育て世帯を対象に、育児や心身の負担を軽減するため、料理や掃除等の家事を支援する訪問支援事業を令和４年10月から実施した。

チェック！
- 出産後間もない産婦やヤングケアラーがいる世帯が対象である当該事業の利用者の内訳は。
- ヤングケアラーへの支援に繋（つな）げるための学校等関係機関と連携した取組は。

決算に対する討論要旨

詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください。（掲載は発言順）

反対討論　日本共産党

1. 物価高騰等が市民生活に大きな影響を及ぼす中、市民のために財源を活用せず、福祉施策の見直し等を行ったことから、決算には賛同できない。
2. 令和４年度は据え置きとなったが、低所得者には依然として高額な国保税の負担を軽減するため、基金残額の活用等による引き下げを求める。

賛成討論　颯爽

1. 多額の剰余金が生じている。財政収支見通しの精度を高め、年度途中でも臨機に収支見通しの修正を行うとともに、厳しさを増す市民生活への適切な支援策を求める。
2. 計画案を作る段階から、多様なステークホルダーとの対話を通して共に創り上げる、真の対話によるまちづくりを求める。

賛成討論　日本維新の会

1. 令和４年10月に見直しをした長期財政収支では歳出超過の見通しが圧縮されており、行財政構造改革プランの目標を達成するためにも、決算は良好なものと評価する。
2. 投資的経費が極端に少ないことが課題であり、思い描くまちの姿を築くため、必要な投資的経費の目標値を明示し、しっかりと確保することを要望する。

賛成討論　立民

1. 長引くコロナ禍や物価高騰等の影響を受け、13回の補正予算を編成したことは、迅速な財政出動によって市民生活を守り、誰一人取り残さないとの思いが反映された結果と評価する。
2. 学校給食の公会計化により、小規模事業者の事務作業等の負担は増加している。負担軽減に向け意見交換をし、より開かれた運営となることを求める。

賛成討論　公明党

1. 法人市民税は増収となったが、減収した業種もあるため、税収面で効果的な企業誘致に加え、減収した企業への積極的な支援も要望する。
2. 食材費の物価高騰対策により、保護者負担を増やさず、栄養バランス等を保った学校給食の提供ができたことを評価する。
3. 令和４年３月の「国の学校図書標準に基づく整備を目指す」との教育長答弁に応える形となった、図書購入実績を評価する。

賛成討論　さがみみらい

1. 決算剰余金については、将来を見据え、今後必要となる給食センター等の更なる財源として、特定目的基金に確実に積み立てるといった、戦略的な財政運営を提案する。
2. 地域の移動手段については、グリーンスローモビリティの実証運行が行われ、新たな地域交通の手段として期待されている。事業には地域の協力が欠かせないが、この希望の光を絶やすことがないよう、市の積極的な支援を要望する。

賛成討論　自民党

1. 将来にわたって持続可能な都市経営を行うため、必要な投資的経費の計上の実現を強く要望する。
2. 市税と国保税の徴収事務一元化により、納税相談がワンストップ化され、市民の利便性向上と、効率的で効果的な収納管理と滞納整理による、収納率の向上を評価する。
3. コロナ禍で中止されていた防災訓練等が各地域で実施されたことは大きな成果である。引き続き、地域の防災体制充実や訓練の着実な実施に向けた支援、防災専門員等のスキルアップなど、着実な取組の実施を要望する。

SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和４年度特別委員会　活動レポート

特別委員会とは

必要に応じて、特定の問題を調査研究する委員会だよ。
今回は令和４年度に設置されていた特別委員会のうち、次の２つの委員会を紹介するよ。

1. **新たなまちづくりに関する特別委員会**
   都市部と郊外部におけるまちづくり、広域連携及び公共交通に関する調査研究
2. **少子高齢化・人口減少社会に関する特別委員会**
   少子高齢化・人口減少社会に関する調査研究

新たなまちづくりに関する特別委員会

リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）建設工事現場を視察

令和４年７月27日に開催された委員会では、広域交流拠点の整備等について担当部局から説明を受けた後、令和４年度の活動方針等について協議しました。また、11月７日には、橋本駅周辺のまちづくりに関連して、リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）建設の工事現場を視察しました。

令和４年７月27日の委員会の様子

視察の様子

少子高齢化・人口減少社会に関する特別委員会

本市の少子化対策の取組等について質疑

令和４年10月24日に開催された委員会では、少子化をめぐる社会情勢や本市の少子化対策の取組について担当部局から説明を受け、質疑を行いました。また、令和４年度のテーマについて協議し、「出生率の向上等に向けた様々な少子化対策の取組」と決定しました。

令和４年10月24日の委員会の様子

少子化対策を重点テーマの一つに設定している相模原市総合計画基本計画

令和5年5月に設置された特別委員会

- 子どもと高齢者などの支援に関する特別委員会
- 基地対策特別委員会
- 大都市制度に関する特別委員会
- 新たなまちづくりに関する特別委員会
- 防災・減災の推進に関する特別委員会

さがみはらジュニアハイスクール議会2023に協力

8月19日に、相模原青年会議所による「さがみはらジュニアハイスクール議会2023」が議場で開催され、市や教育委員会とともに、市議会も協力しました。

当日は、21人の中学生議員が議場で市の課題等について質疑を行い、４つの委員会から市へ政策提言が行われました。

議場コンサートを開催します♪

５月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが５類感染症になり、市議会では、６月定例会議から傍聴席の数の制限を解除しました。そこで、市民の皆さんが気軽に本会議を傍聴するきっかけの一つになるよう、12月定例会議の期間に議場コンサートを開催します。昭和44年に現在の議場になって初めて、生演奏による音楽が議場内に響き渡ります。

日時：令和５年11月28日(火)、29日(水)　両日ともに午前９時開演
受付：市役所本庁舎　第２別館３階傍聴ロビー　**定員：**90人(先着順)
出演：11月28日 邦楽ユニット あさきゆめみし(尺八、箏(こと)、十七絃(じゅうしちげん)による演奏)
11月29日 ビッグママ・プロジェクトLuann(るあん)(アコーディオンやバイオリン等による演奏)

※演奏は約20分間で、９時30分からは本会議を開催します。ぜひ、本会議の傍聴にお越しください。
※詳細は今後、市議会ホームページ等でお知らせします。

令和5年8月1日発行のさがみはら市議会だより第222号の内容に誤りがありましたので、次のとおり訂正します。

訂正箇所：５面 松浦千鶴子議員の一般質問の用語解説
「学校現場における業務改善に向けた取組方針」の説明文中
(誤)本年４月には、令和８年度までの第２期の取組方針を発出した。
(正)現在、第２期取組方針(令和８年度まで)の策定を進めている。

さがみはらLOVE フォトギャラリー

「飛行機雲」

(緑区 西橋本)
緑区　安藤　彰さん

夜明けの橋本の街上空に残る鮮やかな航跡、機体はどこに向かったのだろう。

写真を募集しています！

フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。次回掲載は第224号（令和6年2月1日発行）です。
市内のお気に入りの風景等をご紹介ください。ご応募お待ちしています！

応募方法　Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、政策調査課(Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp 〒252-5277　中央区中央2-11-15　電話 042-769-9803)へ

【注意事項】
○応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限ります。
○Eメールの場合、１通の容量は11MB以内で送ってください。
○採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
○肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
○掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。
ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから→ 相模原市議会 検索

ホームページ　「いいね！」してね!! フェイスブック　「フォロー」してね!! インスタグラム

※この市議会だよりは15万8,500部作成し、１部当たりの単価は9.79円です。
また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。